グループホーム第2幸せの枝

地域密着型サービス自己評価票 (網掛け部分は外部評価も行う調査項目) 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------|---------|--------|----------------------------------|--|-------------------------|---------------------------------|
| 理 | 念に基 | づくì | 運営 1~5(自己 1~24・外部 1~14) | 自己評価24項目・外部評価14項目 | 3 | |
| | 1 理 | 念の | 共有(自己 1~3・外部 1~2) | 自己評価 3 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| | | 1外部評価1 | して、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所で働く職員1人ひとりが理念を理解し日々 利用者に関わる際に意識して取り組む事に努めて いる。 | 0 | |
| | 1 理念の共有 | 2外部評価2 | 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | 0 | |
| 理念に基づく運 | | 3 | | 散歩や買い物に出かけた時に、地域の人達と挨拶 を交わしたり、立ち話をしたりグループホームう を理解してもらうように努めている。 | 0 | |
| 営 | 2 地 | 域と | の支え合い(自己 4~6・外部 3) | 自己評価 3 項目・外部評価 1 項目 | 0 | |
| | 2 地域と | 4 | | 普段の暮らしの中で近所の方より魚のおすそ分けうをして頂くので、ホームで取れた野菜、果物などのお返しをする。ホームにはいつでも遊びに立ちよって頂くように取り組んでいる。 | 0 | |
| | の支え合い | 5外部評価3 | 事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の行事など参加を心掛けており、情報を取り入れ、無理がないようにして入居者の状況、体調などを考え、対応している。一年に一回、地域交流会を開き、近所の人に声掛け参加をして頂いている。学生のボランテァなども受けている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | |
|-------|----------|-----------|---|--|-------------------------|--|
| | 2 地域との | 6 | | 地域の方達の介護経験を聞いて、アドバイスをしたり、参考にしたりしている。 | 0 | |
| | 3 理 | 記念を | 実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7) | 自己評価 5 項目・外部評価 4 項目 | 0 | |
| | | 7外部評価4 | 評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を 理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員に評価の結果を見てもらい、改善が必要な事、もう少し質を向上させるべき所はして行くような話し合いを社内会議でしている。全職員で質の向上をめざしている。 | 0 | |
| 理念に基づ | 3 理念を実践 | 8外部評価5 | 運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状 況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に 活かしている | | 0 | |
| うく運営 | 践するための制度 | 9外部評価6 | 市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を つくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 認定更新の機会などに、市町村担当者などに利用 者の暮らしぶりや問題点など伝え、協力関係を築 くように取り組んでいる。 | 0 | |
| | 度の理解と活用 | 10 外部評価 7 | 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学 ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれ | 外部研修に参加してもらいカンファの時に報告をしてもらう。また契約時に説明を行っている。対応が必要と思われる利用者がおられる場合は、職員に説明をしている。 | 0 | |
| | | | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、 | 社内会議の時に虐待についての勉強会などしている。 苑内での虐待が見過ごされる事がない様に注意を払い防止に努めている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|-------|---------|-----------|--|--|-------------------------|-------------|
| | 4 理 | 念を | 実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10) | 自己評価7項目・外部評価3項目 | 0 | |
| | | 12 | 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を 尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時説明をしている。契約時は事業所で出来る事、出来ない事などの説明をし、家族の不安、疑問なども聞き出し、話あって理解をして頂いている。状態の変化により、契約解除に至る場合は、本人、家族に相談し対応方針を含めて納得を得られるように努めている。 | 0 | |
| | | 13 | 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者と職員の幸せ会議を開き、意見、思いを伝えられるようような機会を作っている。家族には月1回の幸せ通信で、苦情、要望などあればいつでも申し出てください。としている。また苑の玄関に専用の要望、意見を書いて頂けるようにしている。意見があった場合には、職員での話し合いをする。 | 0 | |
| 理念に基づ | 4 理念を実践 | 14 外部評価 8 | | 幸せ通信で報告をしている。職員の移動は家族訪 問時に紹介などしている。 | 0 | |
| うく運営 | するための体制 | 15 外部評価 9 | | 意見、要望を職員、外部者へ表せる機会を設置している。苦情ボックス設置、電話番号が載ったチラシを玄関に掲示している。 | 0 | |
| | | 16 | | 職員の意見、不満は聞くように心掛けているが不満や苦情は言い難い部分もあって把握しきれていない可能性もある。職員の提案は充分発揮できる様にしている。 | 0 | |
| | | 17 | 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要 | 状況に応じ勤務時間帯の調整は行っている。必要 に応じて職員の人員の補充も行っいる。職員も気 持ちよく応じてくれるので、十分対応はできてい る。 | | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------|---------|------------|--|---|-------------------------|---------------------------------|
| | 4理念を実践す | 部評価 | 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ | 馴染みの職員に支援を受けられるように支援している。新しい職員の場合は利用者が馴れるまで、1人の勤務はしてもらわないようにしている。(夜勤など) | 0 | |
| | 5 人 | 材の | 育成と支援(自己 19~24・外部 11~14) | 自己評価 6 項目・外部評価 4 項目 | 3 | |
| | | 評価 | 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や | 11、現在の職員では、故障箇所に応じて対応して | 1 | |
| 理念に基づ | 5 | 20 外部評価 12 | | 外部の研修、苑内の研修などを通して学んでもらい、それらを活用出来る様に勉強会をしている。 | 0 | |
| づく運営 | 人材の育成と | 21 外部評価 13 | 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 勤務時間内での研修を受けられるようにしている。社歴に応じて、管理者研修なども受けてもらっている。 | 1 | |
| | 支援 | 22 外部評価 14 | 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている | 勉強会、研修などを通じて、意見交換したり相談 したり、苑訪問などさせて頂いているサービスの 質の向上を目指している。 | 1 | |
| | | 23 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる | 懇親会、忘年会、バーベキュウなどを行いスタッフ、運営者との交流の場を積極的に設けている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|---------|----------------------------|------|---|--|-------------------------|-------------|
| | 5 人材の育成 | | | 資格取得の援助をしたり、家庭の事情にあわせた、勤務にしたり、働きやすいように考慮している。 | 0 | |
| 妄 | 心と信 | 頼に | 向けた関係作りと支援 1~2(自己 25~34・外部 15~16) | 自己評価10項目・外部評価2項目 | 0 | |
| | | | ら利用に至るまでの関係づくりとその対応 25~28・外部 15) | 自己評価 4 項目・外部評価 1 項目 | 0 | |
| | 1 相談か | | 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努 | 入居される前に、体験入居を3日間して頂き苑での生活を体験して頂く。体験入居をして頂いて、いかに苑での生活に馴染めるかどうか、職員と話合っており、入居されたら、声掛け、関わりを多く持つ様に心掛けている。 | 0 | |
| 安心とは | ら利用に至るま | 26 | | 体験入居の後に家族と面談をし、ご本人、家族の 思い、希望の把握に努めている。 | 0 | |
| 信頼に向けた関 | での関係づく | 27 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、家族の思い状況を確認し改善に向けた支援 の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きなが ら必要なサービスにつなげるようにしている。 | 0 | |
| 係作りと支援 | りとその対応 | | 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービス | 体験入所してもらい本人も家族も納得され、入居される。入居後は少しずつ馴れてもらうよう工夫をして行く。 | 0 | |
| | | | 1回 29~34~7下口2計1回 10 <i>)</i> | 自己評価 6 項目・外部評価 1 項目 | 0 | |
| | 係継続への支援りとこれまでの関く 2 新たな関係づく | 外部評価 | ら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 本人の思いや、不安、喜びなどを知る事に努める。 職員と一緒に食事をしたり、掃除、料理の下ごしらえなどしながら、会話をする上でほんにんの気持ちの把握に努める。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|--------|---------|----|--|---|-------------------------|-------------|
| | 2 | 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共に し、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 職員は家族の思いに添いながら日々の暮らしの出来事やきずいた事の情報共有に努め、家族と同じような思いで支援している事を伝えている。 | 0 | |
| 安心と信 | 新たな関係づく | 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築い ていけるように支援している | 本人の日頃の状態をこまめに報告、相談すると共に、暑中見舞い、年賀状などご自身で書いてもらうなど関係が続くように気をつけ面会時には家族の潤滑油になるように心掛けている。 | 0 | |
| 頼に向けた関 | りとこれまで | 32 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの知人の面会、電話など継続的な交流が続くように支援をしている。本人のお部屋に入って頂き、お茶でのおもてなしなども行っている。 | 0 | |
| 係作りと支援 | の関係継続への | 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が 関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同の関係がうまく行くように、見守り、介入など配慮している。皆で楽しく過ごす時間や、毎日のお茶を飲む時間は職員も一緒に、会話しながらとかの配慮をしている。 | 0 | |
| | 支援 | | 利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 契約終了(死亡)後も家族の方から電話やお手紙 を頂いたりしている。電話などでお話したりの対 応をしている。 | 0 | |
| | | | 暮らしを続けるためのケアマネジメント 1 ~ 4 51・外部 17~22) | 自己評価17項目・外部評価6項目 | 2 | |
| | 1 - | | とりの把握(自己 35~37・外部 17) | 自己評価 3 項目・外部評価 1 項目 | 0 | |
| | 1一人ひとり | 外部 | 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困 難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の思いや意向の把握が出来ない事が多いけれど、日々の暮らしの中から声掛け、行動の把握に努めている。言葉、表情など観察をしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|---------|--------------------|---------------|--|--|-------------------------|-------------|
| | 1 一 人 ひ | 36 | 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでの | 入居される時に家族に今までの生活状況を聞き職員はそれを頭において、ケアをしているが、家族の方も、事細かには情報提供されない事があるので、その都度新しい情報があれば、聞いている、家族面会時にお聞きしている。 | 0 | |
| その- | とりの把握 | 37 | 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合 的に把握するように努めている | 利用者1人ひとりの生活リズムを理解すると共に、小さな行動などから本人のリズムを把握している。職員との情報共有に努めている。 | 0 | |
| 人らっ | 2 本 | く く (自こ | 『より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し 』 38~40・外部 18~19) | 自己評価 3 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| しい暮らしを続 | 2 本人がよい | 外部評価18 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、 家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映 | 本人や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている。職員全体で意見交換やカンファレンスを行っている。その結果を介護計画に反映している。 | 0 | |
| けるためのケア | の作成と見直しり良く暮らし続 | 39 外部評価 19 | 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応 できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、現状に即した新たな計画を作成している | 同上 | 0 | |
| アマネジメント | けるための | 70 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入 し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別にファイルを用意し食事、排泄など記録を毎日する様にしている。個別記録を基に介護計画の見直しをしている。職員間の情報共有を徹底している。(朝,夕の申送り) | 0 | |
| | 3 多 | 残能 | を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20) | 自己評価1項目・外部評価1項目 | 0 | |
| | した柔軟な支援 3多機能を活か | // | 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を 活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況に合わせて通院などの支援はしている。買い物など家族の変わりに、職員が同伴したりしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | |
|---------|---------|--------------|--|--|-------------------------|--|
| | | | , 42~51・9N部 21~22) | 自己評価10項目・外部評価2項目 | 2 | |
| | | 42 | 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消 | 運営推進会議に地域包括支援センターの職員民生 委員、町内の役員の方達との意見交換などで協力 関係を築いている。 | 0 | |
| その人らし | 4 本人がよ | 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている | | 1 | |
| い暮らしを続け | り良く暮らし続 | 44 | 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議の時に地域包括の職員と意見交換を している。アドバイスなど受けている。 | 1 | |
| るためのケアマ | けるための地域 | 評 価 21 | 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と 事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる | が、なければ苑の主治医に往診をして頂く。急変 時などいつも対応してもらえる。必要に応じて受 診の付き添いなどは家族にして頂いているが、遠 方の家族、都合が付かない家族の場合は職員がし ている。 | 0 | |
| 、ネジメント | 3資源との協働 | 46 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談した り、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援してい る | 主治医にお任せしている。相談は受けた時には主 治医、家族との話し合いの場をもうけている。 | 0 | |
| | | 47 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 職員が3人看護職なので健康管理や医療活用は十分できていると思うし支援もしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|-----------------|----------|-------------|---|---|-------------------------|-------------|
| その人ら | 4 本人がよ | 48 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早 期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めてい る。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院された時は職員が2~3日おきに様子を見に 行き、病院関係者とは情報交換はしている。 | 0 | |
| しい暮らしを続 | り良く暮らし続 | 49 外部評価 22 | | 主治医の早目の対応があり、早目に家族との話あいの場を持って頂き、職員は早期発見が出来る様に、情報の伝達をしている。 | 0 | |
| だけるためのケア | 続けるための地域 | 50 | | 終末期のありかたを家族と常日頃話しあっており、家族の思いを優先させた、対応を目指している。 | 0 | |
| ァマネジメント | 域資源との協働 | 51 | | 今までのホームでの生活状況などの情報交換は充分して行きたいと思います。 | 0 | |
| | | | 暮らしを続けるための日々の支援 1 ~ 2 ・外部 23~33) | 自己評価38項目・外部評価11項目 | 0 | |
| | 1 その | の人 を | 5しい暮らしの支援 (1)~(5) (自己 52~81·外部 23~30) | 自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目 | 0 | |
| その | 1 | (1) | 一人ひとり尊重(自己 52~54・外部 23~24) | 自己評価 3 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| の日々の支援)人らしい暮らしを | その人らしい | 52 外部評価 23 | 記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の情報収集や個別性の情報連携の時には守 秘義務について充分理解し責任ある管理を心掛け ている。 | 0 | |
| 援しを続けるため | 暮らしの支援 | 53 | 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせ | 日常生活の中で本人の思いや希望をさりげなく聞き、本人に自己決定が出来るように働きかけている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | |
|---------|--------|------------|--|---|-------------------------|--|
| | | | 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペース を大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている | 利用者のペースに合わせた希望によって支援しているが、日常を理解出来ない利用者には声掛け、促しでの支援もある。 | 0 | |
| | | (2) | その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26) | 自己評価6項目・外部評価2項目 | 0 | |
| その人ら | 1 | 55 | | 本人、家族からの申し出でがあれば、いつでも受け入れている。現在は訪問でしている。 | 0 | |
| しい暮らしを | その人らしい | 56 外部評価 25 | 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしな がら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の下ごしらえ、後片ずけなど手伝って頂いている。お好み焼き、たこ焼き、コロッケ作りなどの時には個人の能力にあわせ手伝って頂いている。畑の野菜収穫なども職員と一緒にしている。 | 0 | |
| 続けるための日 | 暮らしの支援 | 57 | 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひ とりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | おやつなどテーブルに置いておくと無くなるまで 食べられ、食事が入らなくなるので、1日3回の ティタイム時に小分けして食べて頂いている。現 在酒、煙草を吸われておられる人はいない。おや つは個人の好き嫌いを把握していて、嫌いなもの は無理強いしない。食べれるおやつを考えてい る。 | 0 | |
| 々の支援 | | 58 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | トイレ誘導はこまめに行い、出来るだけトイレで排泄をして頂くようにしている。紙パンツ、パットなど本人に合わせて使用している。失禁の時には温タオルでの清拭、陰部洗浄など心掛けている。 | 0 | |
| | | 59 外部評価 26 | 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望 やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 一応時間帯は決めているが、毎日沸かしているので希望があれば入浴はできるようにしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|---------|--------|------------|---|---|-------------------------|-------------|
| | | 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 1人ひとりの生活習慣や、その時の状態に応じて安心して眠れるように支援している。 | 0 | |
| | | (3) | その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28) | 自己評価 6 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| その人ら | 1 | 61 外部評価 27 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 本人のお好きなアクティビティなど把握し気分転換が出来る様に支援をしている。 | 0 | |
| しい暮らしを | その人らしい | 62 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひと | お金は少量の金額(小銭)を財布に入れて頂いておりますが、取られ妄想などがひどいのい。何処になおされているのか探すのに苦労をする。買い物の時には欲しい物を買われるときには、職員がお金を渡し支払ってもらう。目の保養はされますが殆ど購入される事はない。 | | |
| 続けるための日 | 暮らしの支援 | 63 外部評価 28 | 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩、草取りなど戸外に出られる事はあり、帰宅 願望のある利用者はいつもの事で出られたあと必 ず職員がついて本人が納得されるまでついてい る。個人の外出の癖や傾向を把握できている(職 員) | 0 | |
| 々の支援 | | 64 | | 1年の行事に皆さんが喜ばれる場所の計画をたて 実行している。家族との外出はいつでも受け入れ ている。 | 0 | |
| | | 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 支援をしている。暑中見舞い、年賀状などは毎年 本人に書いてもらっている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|---------|--------|------------|---|--|-------------------------|-------------|
| | | 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪 問でき、居心地よく過ごせるように工夫している | 訪問された時には利用者のお部屋で過ごして頂き、お茶、などでのおもてなしをしている。 | 0 | |
| | | (4) | 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30) | 自己評価8項目・外部評価2項目 | 0 | |
| その人ら | 1 | | | 高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修などに、交代で行ってもらっている。職員が身体拘束によって利用者に与える身体的苦痛、精神的苦痛を理解する事に努めている。 | 0 | |
| しい暮らしを | その人らしい | 68 外部評価 29 | | 現在、徘徊者がいない事もあり、玄関の鍵をかけない事で対応している。利用者によっては、外出される事があるが、職員で気をつけ見守りでの対応もある。鍵をかけずに安全に過ごせるように工夫を重ねて行こうと思う。 | 0 | |
| 続けるための日 | 暮らしの支援 | 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所 在や様子を把握し、安全に配慮している | 援助が必要な時は本人の気持ちを考え言葉かけな どさりげなくするように努めている。言葉の内容 や、語調が利用者の誇りを傷つけないように心掛 けている。 | 0 | |
| 々の支援 | | 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に 応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 個人により注意する物品が違うので、利用者の状態に応じて危険を防ぐようにしている。 | 0 | |
| | | 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一 人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 訓練は受けているが いざというときには不安と 職員の皆が思っているので、皆で話し合いはいつ も行っている。マニュアルを整備し徹底をはか る。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | |
|-------------|----------------|-----|--|--|-------------------------|--|
| その | 1 その人らしい暮らしの支援 | 72 | | 救急車が到着するまえの応急処置や準備する事に ついて勉強会や話し合いを繰り返し行っている。 | 0 | |
| | | | | 地域推進会議で出席されている、地域の役員の方達に協力を得られるように働きかけている。職員にはカンファの時に話しあっている。消防署の協力を経て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方など訓練を行っている。 | 0 | |
| 人らしい暮らし | | 74 | 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 夜間時の急変、骨折などの危険性などは家族の面 会時、家族会のときなどに話している。家族には 頭に入れといて下さいと説明をしている。 | 0 | |
| を | | (5) | その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31) | 自己評価 7 項目・外部評価 1 項目 | 0 | |
| 続けるための日々の支援 | | 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速や かに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎日バイタルチェックをしている。その他いつもと変化があれば、様子を見ながらの対応をしている。主治医に報告なども早目の対応に努めている。 | 0 | |
| | | 76 | 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量 | 主治医が処方された薬など注意点などがあると申送りノートで伝達する様にしている。薬は看護師がセットするので、日付など間違わないようにしているし、病気によっての薬なども把握に努めている。きちんと服用されたかの確認をする様にしている。 | 0 | |
| | | 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲 食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎日の排便の有無を確認し水分補給、食材の工夫 などしているが利用者の状況にあわせた便秘対策 に取り組んでいる。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | |
|--------------|----------------|------------|--|---|-------------------------|--|
| | 1 その人らしい暮らしの支援 | 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後の歯磨きをしている。歯科往診で口腔 チェックをしてもらっている。夕食後は、ポリデ ントにつけ消毒をしている。 | 0 | |
| - | | 79 外部評価 31 | 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養パランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、 一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 摂取量のチェック、ティタイムなどの時に必ず水 分摂取をしてもらう様にし1人ひとりの摂取量の 確認をし、食べやすい様に工夫もしている。 | 0 | |
| の人らしい暮 | | 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(イン フルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルにそってしている。主治医の指示の元 で行っている。 | 0 | |
| らしを続けるた | | 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生 管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 毎日買い物に行き新鮮な食材で調理し、食中毒には毎回のカンファでの話しあいをして職員に認識してもらうようにしている。1日の最後に調理用具は漂白剤での消毒を義務付けている。 | 0 | |
| めの | | | しい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) 82~89·外部 32~33) | 自己評価 8 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| 日 々 | 2 | (1) | 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33) | 自己評価 5 項目・外部評価 2 項目 | 0 | |
| の支援 | 生活環境づくり | | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関の施錠は現在していない。訪問者がすぐこんにちはと入れるようにしているが、不安な事もある。外周りは花など咲いており、危険な物は除去している。散歩時、近隣の方には声掛けをし、いつでも訪問して下さいと話している。 | 0 | |
| | りいを支える | | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) | 生活観や季節感のある飾り付けなど利用者と一緒 に制作した飾り付けなどで家庭的な雰囲気がでて いる空間にしている。行時の写真などコメントを 添え掲示している。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|-------------|------------|-----|---|---|-------------------------|-------------|
| | | 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い 思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご自分お部屋で読書、日記など書かれたりされ、 リビングではT をみられたり、お話される事が 多く見られている。時には笑い声も聞かれ、職員 も一緒に話に加わるようにしている。 | 0 | |
| その | 2 その人らしい暮ら | | 居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に本人が今まで使っておられた物を持ってきて頂く(タンス、テーブル、お箸、湯のみ、お茶碗)など。布団も。 | 0 | |
| 人らしい暮らし | | 86 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節 は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこま めに行っている | 天気がよい日には布団など干し、窓は開けて換気 に気をつけている。温度調節など昼間、夜間など こまめに行っている。 | 0 | |
| を | しを | (2) | 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89) | 自己評価 3 項目 | 0 | |
| 続けるための日々の支援 | 支える生活環境づくり | 87 | | 状況にあわせて環境整備に努めている。状態がかわったり新たな混乱が生じた場合その都度、職員で話合い本人の不安、混乱材料を取り除く支援している。 | 0 | |
| | | 88 | 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮 | 不安や混乱、失敗を招く事がない様に、1人ひと りのわかる力を見極め、必要な目印をつけたり物 の配置に気をつけている。 | 0 | |
| | | 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように 活かしている | 季節の花、野菜を植え楽しんで頂く様にしている。季節の野菜、果物など収穫しその場での試食などしている。 | 0 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 |
|-----|----------------|-------------|---|---|-------------------------|-------------|
| Ħ | ービス | ビスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当番号を該当番号欄に入力すること) | 該当 番号 | |
| | | 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない | 1 | |
| | サー ビスの成果に関する項目 | 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない | 1 | |
| | | 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| | | 93 | ている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| | | 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 2 | |
| - I | | 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| 1 | | 96 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安 心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| | | 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを よく聴いており、信頼関係ができている | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない | 1 | |
| | | 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない | 2 | |

| 大区分 | 中区分 | 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組 んでい きたい 項目 | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------|--------------|---------|---|--|-------------------------|---------------------------------|
| + | , | 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが 拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない | 1 | |
| 5 | ビスの成果に関す | 100 | 職員は、活き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| 1 | | 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない | 1 | |
| I | | 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない | 1 | |
| サービスの成果に関する項目 | | 果に関する項目 | 取 り 組 み の 成 果 (該当番号を該当番号欄に入力すること) | 該当 番号 | | |

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。